

2024-07

龍ヶ崎市・利根町

生活
安全

自然
地形
生物

防災
災害

作品タイトル

小貝川の水害の歴史

解説

第25回優秀賞

龍ヶ崎市・利根町

最近、様々な場所で自然災害が発生している中で、身近に起こった過去の災害に対して関心を持ったり、過去の自然災害を未来の人々に伝える自然災害伝承碑にも視点を向けたりするなど、なぜそこで災害がおこったのかと疑問を向けて取り組んだ作品です。「どこで」「どういった状況で」「なぜ」「その後」と、川についての地形・状況を野外調査も交えてよく観察するとともに、過去の教訓とそれに照らし合わせた対策・現状も丁寧に考察しています。水害対策の重要性・必要性を考えさせられる素晴らしい作品とです。

制作者

私立茗溪学園中学校2年 高谷 奨平

作者による紹介

私の祖父の家は、大雨が降ると浸水被害がたびたび起こるそうです。小貝川という近くの川が過去に何度も氾濫していると聞き、小貝川の水害の歴史を調査しました。小貝川周辺の決潰碑や図書館、資料館に行き、周辺に住んでいる方や、資料館の解説員の方にインタビューしたり、当時の新聞などを読んだりした結果、歴史を繰り返さないために行政の施策や地域の住民のつながりにより被害を抑えていることが分かりました。